

10/22 おやきフェスタ2017

台風の影響が心配される中、今年も鈴蘭の観光センターで行われました。

作られた物を食べるコースと、下準備も自分で行い自分が作った物を食べるフルコースがあり、フルコース希望の方は22名もおられました。



自分で作った
おやきの味は
最高においしいです。



安全の為に確認しましょう

旅館・民宿婦人部の主催で、「身近なキノコを知りましょう」という趣旨の講習会が、地元のキノコに詳しい旅館の御主人を講師に迎えて、晴天の下、地元の山だけでも、一

講師の方以外は参加者11名が全員女性なので、結構にぎやかに会話しながらも、足元の下草をかき分けながら登つていきました。要所要所で説明を受けながら2時間ほどキノコ採りを楽しみました。

集合場所に戻ると、講師を務めてくださった方の奥様がアツアツのキノコ汁を用意しておいてくれましたので、おにぎりを頬張りながら昼食にいたしました。

9/21 キノコ採り講習会

一ノ瀬周辺

人ではなかなか入れない所へ入ってみました。



安曇中学校 奥原 茉美

● 安曇地区 ●	
754世帯	795人
男女	779人
合計	1,574人

H29.11.1現在

9/13 大野川敬老会 国民休暇村にて



敬老の日 ありがとう♥ あめでとう

各地区たくさんの方に出席していただきました。
来年もステキな笑顔に会えるのを楽しみにしています。

久し振りに会う方もおられ、なごやかな雰囲気の中で始まりました。

9/10 島々敬老会

島々公民館にて

百々香さんのあでやかな歌謡シヨーで懐かしい歌を楽しんだり、一緒に手拍子で参加したりと、最後のビンゴゲームまで、笑い声に満ちた集まりでした。



9/16 橋場敬老会

民宿かねもとにて



9/15 沢渡敬老会

グレンパーク沢渡にて



9/18 大野田敬老会

アルプスの郷にて

今回、今年の生徒会テーマである「考動・口動・行動」と、乗峰祭のテーマ「～希望ある明日のために～」を基に九月から企画をし、全校生徒六人を中心に、準備を進めてきました。



今年の乗峰祭の企画は、今までと違うものが多く、昨年とは違う私たちの乗峰祭を創り上げることが出来たと思います。今年は昨年より、中学生の人数がさらに減り多くの心配がありましたが、全員の力で、昨年に劣らないものを作ることができ、本当に良かったです。今年度の生徒会はまだ、終わりではないので、地域全体で過ごす時間がで過ぎます。とても、地域全体で過ごす時間がで過ぎます。

小中学生や保護者・地域の方々、全員参加の特別企画では会場にいたほぼ全ての人で一つの物を作り上げる製作企画にも参加して下さつたりしたので、めったにない、地域全体で過ごす時間がで

音楽会会場にいたほとんどの生徒を中心、準備を進めてきました。

今年の乗峰祭の企画は、今までと違うものが多く、昨年とは違う私たちの乗峰祭を創り上げることが出来たと思います。

また、音楽会では、小学生から中学三年生までどの学年も昨年よりも合唱がとてもよくなっていて、一人一人が一生懸命歌ついた姿が見られます。

小学生の合奏は、とても迫力あるもので驚きました。また中学生の合唱では、このメンバーで歌う最後の合唱といふことで全員が色々な気持ちを込め、先生も含め七人で最高の合唱が作れたと思います。

今年は、今年の生徒会テーマである「考動・口動・行動」と、乗峰祭のテーマ「～希望ある明日のために～」を基に九月から企画をし、全校生徒六人を中心に、準備を進めてきました。

他にも、人権作文発表や英語リッシュスピーチなど、乗峰祭全体を通して、私たちの学習の成果を伝えられたと思います。

10/14

第48回 乗峰祭・音楽会

も良い時間になりました。

大野川中やまびこ
八田萌愛



安曇駅伝

10月23日に安曇駅伝がありました。この日のために児童・生徒は良い走りができるように駅伝コースや校庭を走るなど、練習をがんばっていました。

駅伝当日。各区のスタート位置についていよいよ始まりました。この日は雨上がり後で足元がぬれていましたが、児童・生徒はお構いなしに一生懸命走っていました。そしてそんな一生懸命走っている仲間を大声で応援する姿が見られました。

(2年 上條 玖斗)



(2年 奥原 茉美)

新人戦が近くなると、朝部活も始まり毎日とても忙しかったです。朝部活では自分の弱点を中心に練習しました。だんだんと上手になつていることを実感できました。そしていよいよ新人戦がじりました。私は練習の成果を存分に出そうと思いまして。でも1セットも取れなかつたので残念でした。原因はサーブを出す場所が相手の打ちやすい場所だったことなので、もつと練習して次の試合には勝ちたいです。

がんばった安曇祭

がんばり、安曇祭当日のがんばりを見ていて『来年はもうつとよい安曇祭を』と思いました。
(2年 川上 明莉)



安曇中央

清らかの心と
ひとり立ち
できる人間



伴場 海斗

新人戦

